

第 119 回日本数学会九州支部例会のお知らせ

2008 年 10 月 1 日

日本数学会九州支部会員 殿

支部評議員 辻井正人
山田直記
近藤正男

日時：2008 年 10 月 18 日(土) 10 時 30 分より
場所：鹿児島大学理学部 101 講義室（理学部 1 号館 1 階）

プログラム

午前の部（10:30～12:00）

（一般講演）

- (1) 中嶋眞澄（鹿児島国際大学・経済学部） (15 分)
殆んど全て、即ち測度 0 を除く全ての Hurwitz Zeta 関数に対して
Lindelöf Hypothesis は成立する
- (2) SARPONO（鹿児島大学大学院・理工学研究科）# (20 分)
MARS for Statistical Modeling of The Slum Area Distributions
In Jawa Tengah 2006
- (3) Mahesh Dharmawardane（九州大学大学院・数理学府）# (15 分)
Decay property for second order hyperbolic systems
describing viscoelastic materials
- (4) 坂巻慶行（九州大学大学院・数理学府）# (15 分)
Automorphism groups on normal singular cubic surfaces
with parameters
- (5) 三枝崎剛（九州大学大学院・数理学府）# (15 分)
On the zeros of certain polynomials associated with the extremal
vertex operator algebras

午後の部 (13:30～15:40)

(一般講演)

(6) 柴田勝征 (福岡大学・理学部) # (20分)

街灯は公園のどこに設置すべきか?

— 新たな対称中心の発見 —

(7) 岸 康弘 (福岡教育大学・教育学部) * (20分)

ある2次体のイデアル類群について

(8) 濱名裕冶 (熊本大学・理学部) * (15分)

Wiener sausage の体積の平均値について

(特別講演) (14:40～15:40)

伊藤 稔 (鹿児島大学・理学部)

テンソル代数の拡張とその表現論への応用

(懇談会) 特別講演終了後 理学部にて

*印はOHP、#印はプロジェクター使用です。